

2025年3月24日

社内イノベーションを加速！DX 推進人材育成プログラム開講

鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：伊藤 泰司）は、人材DX戦略の一環として、新たに「DX 推進人材育成プログラム」を開講しました。本プログラムは、研修を通じて業務の効率化・高度化を自ら実践できる人材を育成することを目的としています。社員の自律的な学ぶ姿勢を尊重し、希望者を募り、2024年度は50名が参加しました。

本プログラムを通じてDX 推進人材を継続的に育成し、本支店各部門や作業所へ配置することで、個々の成長を組織の力へとつなげ、企業の持続的成長を促進します。

1. DX 人材フレームワーク

当社のDX 人材育成フレームワークでは、DX 推進に必要なスキルを体系的に整理し、育成プログラムを3段階（管理職は5段階）に分けて整備しています。本プログラムはレベル3に相当し、より高度なDX 推進力を備えた人材の育成をめざすものです。

レベル	人材の定義	
一般社員	レベル1	DX理解人材 DXの必要性を理解し、前向きに取り組める人材。
	レベル2	デジタル利用/活用 人材 導入されたICTツール(Teamsやbox等)を正しく使う基礎スキルを身につけている人材。 また日常業務にICTツールを適用し、継続的な改善ができる人材。
	レベル3	データ活用人材 データの重要性を理解し、基本的なデータ取り扱いのスキルを有する人材。 DX推進人材 周囲を巻き込み、変革をサポートできる人材。
管理職層	レベル管1	デジタル支援人材 新たなデジタル技術の価値と発展性を理解し、仕事のやり方の変革を受け入れる。 若年層のICTツール活用を後押し(妨げない)できる管理職。
	レベル管2	DX推進企画人材 ビジネスアーキテクトとして業務(経営)課題解決にデジタルツールやデータを活用する、組織(企業)の意思決定を行える管理職(データドリブン経営)

▲DX 人材フレームワーク

2. プログラムの内容

Microsoft Power Platform を活用して、業務プロセスの自動化とデータ分析能力の向上を目的とした二つの講習とスキル定着のための技術支援を実施しています。

Power Automate 講習

Power Automate による業務の自動化を通じて、自部門の業務プロセスを効率化させる方法を学習。

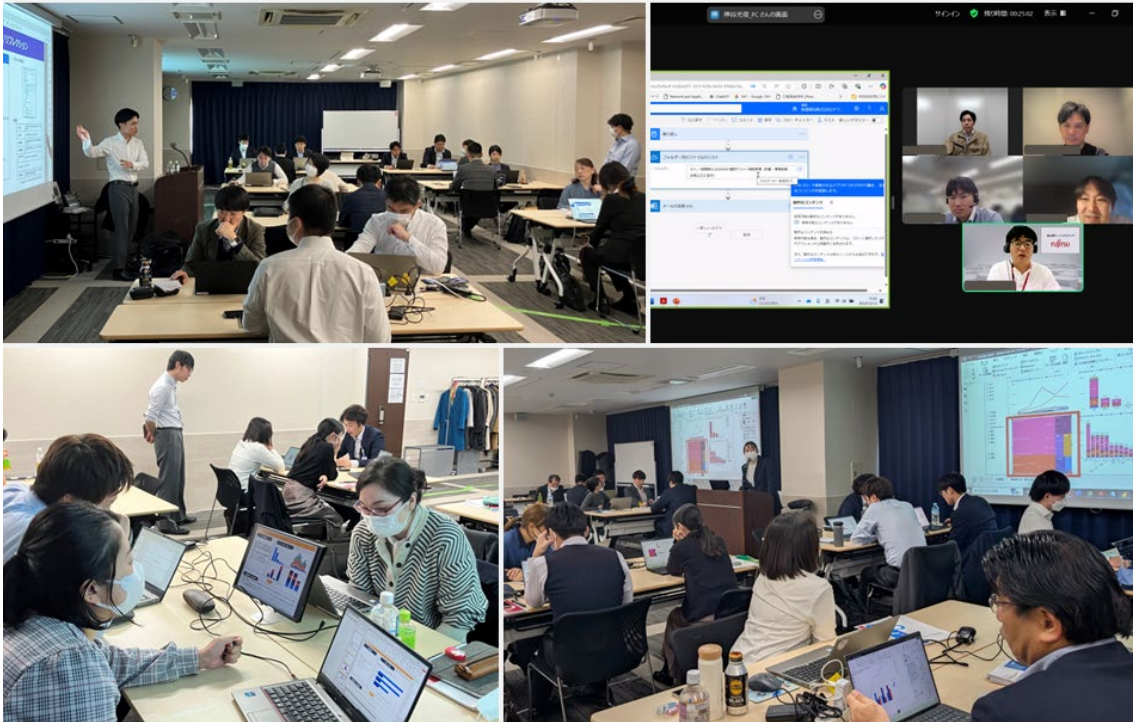
Power BI 講習

データサイエンスの基礎知識を習得後、Power BI を活用したデータの可視化や分析を通じて、各々の部門が持つデータの活用方法を学習。

Power Platform 技術QA 支援

講習で得た知識を実務に活かすスキル定着を図るため、ユーザーの技術的な質問や課題に対してQ&A形式やTeams 会議形式で支援を行う。

本プログラムは、Power Platformの利活用支援で豊富な経験をもつ、株式会社富士通ラーニングメディア（本社：神奈川県川崎市、社長：佐竹 秀彦）（講習）と富士通株式会社（本社：神奈川県川崎市、社長：時田 隆仁）（技術支援）の2社のご協力により実施しています。



▲研修の様子

遠方社員もグループワークに参加しやすいよう、
オンラインで少人数の班分けが可能なブレイクアウトルーム方式を活用。
各講習にはメイン講師と別に1,2名のメンターを配置し受講者をサポート。

3. 今後の展望

既存業務の改革やビジネスの多様化が進む中、デジタルスキルの重要性は今後ますます高まることが予想されます。当社は、社員の持続的な成長の機会を提供し、建設業の新たな価値創造に貢献していきます。また、外部パートナーとの連携を強化することで、最新の技術と知識を取り入れた人材育成を積極的に展開していきます。

関連リンク

[統合報告書 2024 鉄建DX 戦略](#)

[中期経営計画 2028「誇れる企業へ」～サステナブルな未来社会への挑戦～鉄建DX 戦略](#)

お問い合わせ先

〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町 2-5-3

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

鉄建建設株式会社 経営企画本部 広報部

<https://www.tekken.co.jp/>